

美容部員のカウンセリングコンテスト決勝大会を開催

花王

花王ビューティブランドスカウ
ンセリング(KBBC)は、ブ
ランドごとに最高峰の美容部員を選出する「K
BBC BEAUTY PARTNER AWA
RDS 2022」をブランド別「東京台
場にて開催し、10月5日に決勝大会、翌10月
6日に表彰式を実施した。



今回の「KBB C B 共感力・おもてなしとい
EAUTY PARTN った美容プロフェッショ
ER AWARDS 20 ナルとしてのスキル向上
22」は、花王グループ を目指した。
のカウンセリング会社と 決勝大会には、KBB
としては、約3年ぶりのリ C全国7地区、約550
アル開催となる美容部員 0名の中から予選で選出
のカウンセリングコンテ された54名の代表美容部
ストであり、KBB Cと 員が出席し、ブランド体
しては初の開催となっ 現力と美容スキルを披露
た。大会のコンセプトに するとともに、互いにブ
は「ブランド最高峰美容 RANDカウンセリングの
部員の輩出」を掲げ、ブ 総合力を研鑽し合った。
ランドごとの個性を体现 大会開催を通じて美容部
する世界観・価値観・提 員一人ひとりの成長が促
案力といったカウンセリ され、グループ一体とな
ング力の向上と、専門力 った化粧品事業の強いブ
ランづくりと、ブラン ドと顧客の絆づくりを推
進するうえで絶好の機会 となった。

花王の化粧品事業は、 2018年より推進して いる新成長戦略のもと、 約30ブランドを中心に個 性ある「強いブランドづ くり」を進めている。2 021年から事業パーパ ースに「Celebratio n of Individuality」を掲 げ、多様な美に寄り添う パーパスドリブンな事業 運営を展開。また、同年 4月にはグループの2つ の美容カウンセリング会 社「ソフィーナビューテ ィカウンセリング」と「カ ネポビューティカウン セリング」を統合し、美 容部員全員が所属するK BBCを設立した。

KBBCでは、花王の 化粧品事業が有するブラ ンドの世界観・価値観の 伝達と、愛用者の維持・ 拡大につながる活動を一 層強化している。

資生堂 日本ユニセフ協会への 支援に対し「紺綬褒章」を受章

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会へ 支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章 した。資生堂のグローバルジュアリーブラ ンド「クレ・ド・ポー・ボーテ」による日本ユ ニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女た ちへの教育・エンパワーメントの活動支援に対 する功績が認められた。

クレ・ド・ポー・ボーテは、2019年よりユ ーニセフとグローバルパー ティナリティーを結び、世 界中の少女たちと社会全 体へより良い未来をもた せる功績が認められた。

資生堂は、公益財団法人日本ユニセフ協会へ 支援活動に対し、紺綬褒章に係る褒状を受章 した。資生堂のグローバルジュアリーブラ ンド「クレ・ド・ポー・ボーテ」による日本ユ ニセフ協会への寄付を通じて、世界中の少女た ちへの教育・エンパワーメントの活動支援に対 する功績が認められた。

「第5回オンライン企業 セミナー」を開催

ビューティー商品の企画開発・コン
サルティングをはじめ、教育やサロン
など幅広い事業を展開する美・ファイ
ン研究所はこのほど、「光と意識を集
める美容」をテーマに、第5回オンラ
イン企業セミナーを開催した。



小林氏

セミナーでは、87歳を
迎える現役美容研究家
として活躍する創業者の
小林照子氏が、67年に及
ぶ美容研究家人生の中で
特に学びを得たという、
医学と連携したポランテ
ア活動「医・美・心研
究会」のエピソードを中
心に、肌が脳に働きかけ

ら得た美容の学びについ
て言及し、「美容業界で
はリンパを中心にマッサ
ージを考案していた時代
が長かった。しかし、解
剖学専門医から皮膚の直
下にある静脈を刺激する
ことでリンパや血液の流
れを促進し、むくみやく
すみなどの老廃物を一気
に排出することを教わ
り、この理論をもとに静
脈トリートメントのウイ
ノフィスマッサージを共
同開発した。顔をマッサ
ージするだけで便秘が改
善したほか、精神的な不
安を抱えていた人が明る
く元気になるなど、身体
の内外で様々な改善が見
られ非常に驚いた」と振
り返った。

続いて、医・美・心研
究会の活動で得た知見と
して、「皮膚の由来は脳
や毛、爪と同じ胚葉が
形成され、イメージと
して脳を薄く伸ばして張
り付けたものが皮膚であ
り、美容が脳とつながっ
ていることは科学的にも
証明されている。実際に
寒い時は皮膚に鳥肌が立
ち、暑い時は汗がにじみ
出るといったように、脳
より先に皮膚のほうから
業を始めるケースは往々
にしてあるが、これは私
たちの身体を守るために
皮膚が行っている役割
重要で、マスクを外して
もすっぴんに自信が持て
る顔を創っていく、心と
体が健康であることが大
切だとアドバイスした。

最後に、美容を通じて
健康寿命を延ばす秘訣と
して、「人生100年時
代を迎えた今、直に肌へ
れる」をテーマに美容技
術理論について説明し、
三島宏美氏(同社トータ
ルビューティプランナ
ー)が「表情筋のチュー
ニングで立体美をつく
る」をテーマにフェイシ
ョン技術のデモンストレ
ーションを行った。



世界での売上の一部から
が790万人の青年期の
少女たちへ支援を届ける
活動に貢献した。

なお、ユニセフへの寄
付金は、クレ・ド・ポー
ボーテのベストセラー美
容液「ル・セラム」の全
世界での売上の一部から

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複製
(コピー)することは、堅く禁じられております。
本紙からの複写を希望される場合は、出
版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-
6969)まで必ずご連絡下さい。